

「XMASS 実験装置（ダークマター探索装置）」の報道関係者への公開（案内）

1. 公開日時：2010年10月8日（金）14:00～

2. 場所

東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設、地下実験室C
（〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住456）

3. 集合場所

岐阜県飛騨市神岡町 神岡鉱山跡津坑入口

<http://www-sk.icrr.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

4. 公開内容

宇宙には、原子・分子など我々が知っている物質の5～6倍の暗黒物質が存在しています。その正体は不明です。しかし、暗黒物質は、銀河や星の形成に大きく関わってきました。また、暗黒物質は未知の素粒子と考えられており、我々の住んでいる銀河にも飛び交っています。そんな暗黒物質を直接とらえるため、XMASS（※）実験グループは、神岡地下に約1トンの液体キセノンを用いた、世界最高感度を持つ暗黒物質検出器の建設を2007年からすすめてきました。このたび、XMASS実験装置の建設が、最終段階に入りました。検出器本体は、既に直径10m高さ10mの水槽内中央に設置されています。公開当日は、水槽の水面が、検出器より下にあります。

当日は、研究者による研究の概要の解説とともに、水槽内部を取材していただく予定です。

（※）XMASSとはキセノン(Xe)を用いた大きな(MASSive)検出器といった意味を持っています。その検出器を用いて、暗黒物質の探索を目的としています。XMASS実験は、東京大学宇宙線研究所、東京大学数物連携宇宙研究機構、岐阜大学、神戸大学、佐賀大学、東海大学、名古屋大学、宮城教育大学、横浜国立大学、早稲田大学、韓国標準科学研究院、セジョン大学、ソウル国立大学等による、共同研究です。



検出器本体外観

5. 申し込み：

今回の公開場所は、坑内という特殊な環境にありますので、人数の事前把握の必要から事前予約をして頂きます。事前予約なしの当日参加はできませんのでご了承下さい。また、「入坑に際しての注意事項」を読んでいただくなど、立ち入りに際し、事前手続きが必要となります。また、各社最大2名までとさせていただきます。

参加を希望される方は、FAX の場合は別紙用紙にて、メールの場合は、所属、職名、全員の氏名、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを10月5日(火) 17時までに、東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設 高松宛ご送付ください。

FAX : 0578-85-2121

E-mail: takamatu@km.icrr.u-tokyo.ac.jp

6. 問い合わせ先：

東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設

広報担当特任研究員 武長祐美子

Tel 0578-85-9689

FAX 0578-85-2121

E-mail : takenaga@icrr.u-tokyo.ac.jp

なお、当日の対応は、鈴木洋一郎 XMASS 実験代表者（東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設 教授、東京大学数物連携宇宙研究機構 主任研究員）、森山茂栄（東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設 准教授、数物連携宇宙研究機構 科学研究員）他にて行います。

「XMASS 実験装置（ダークマター探索装置）」の報道関係者への公開」

取材・撮影申込書

1. ご所属 _____

2. 職名 _____

3. お名前 _____

4. 電話番号 _____

5. F A X 番号 _____

6. メールアドレス _____

(注) この申込書は、下記あてに提出してください。

F A X 番号 0578-85-2121